

校訓	和魂行
学校教育目標	「互いに協力・協調し、自主性に富み、共に実践する心優しい生徒の育成」
基本理念	「 教師（集団）が変わり 生徒（集団）を変え 学校を変える 」
本校に求められている使命（ミッション）	
(1) 学校本来の落ち着いた授業と生徒が安心して活動できる学校づくり。	
(2) 生徒と生徒、生徒と先生との間に望ましい人間関係が育っている学校づくり。	
(3) 知・徳・体の調和のとれた生徒の育成に継続して取り組む学校づくり。	
(4) 生徒の生き生きとした活動が安定して継続できている学校づくり。	
(5) 生徒が三和中学校生徒であることの自信と誇りを持つことができる学校づくり。	

基本姿勢	<p>(1) 積極的な生徒指導の実践を通して、生徒の自己指導能力の育成をめざす。</p> <p>(2) 生徒指導の三機能を全ての教育活動の基本にすえる。</p> <p>(3) 学校生活のほとんどを占めている教科学習・選択・道徳・総合的な学習の時間・学級活動での良質なコミュニケーションづくりを図る。</p> <p>(4) あいさつ・時間を守る・身だしなみ・整理整頓（美化）の実践化を図る。</p> <p>(5) 家庭・地域や保幼小との情報連携や行動連携を図り、地域の中の学校づくりを推進する。</p>	めざす生徒像	<p>(1) 自分から挨拶でき、気持ちよく挨拶を返せる生徒</p> <p>(2) 自分から掃除に取り組む生徒</p> <p>(3) 自分から規律正しい生活ができる生徒</p> <p>(4) 自分から「ごめんね」「ありがとう」「だいじょうぶ?」と言える生徒</p> <p>(5) 自分から人の話をしっかり聴くことができる生徒</p> <p>(6) 自分からすすんで勉強・部活動・行事に取り組む生徒</p> <p>(7) 自分から自らの進路を切り拓いていく生徒</p>
-------------	--	---------------	--

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		
				努力指標	成果指標	
づ安 く心 りの 推学 進習 ・活 動で 可 る 学 校	生徒と生徒、生徒と先生との間に望ましい人間関係が育っている学校づくりの推進。	「関わり合い」「学び合い」のある学習環境づくりの確立を図る。	ペアや小グループでの協同学習を実践し良質なコミュニケーションづくりをめざした授業改善の取組を行う。	4 教師による自己評価でS	4 生徒による評価でS	
				3 教師による自己評価でA	3 生徒による評価でA	
				2 教師による自己評価でB	2 生徒による評価でB	
				1 教師による自己評価でC	1 生徒による評価でC	
		思いやりがあり助け合える風土づくりをめざした学年・学級経営の充実を図る。	めざす生徒像や学級目標など学級に必要な掲示物の充実と生徒作品の計画的な掲示を行う。	4 教師による自己評価でS	4 保護者による評価でS	
				3 教師による自己評価でA	3 保護者による評価でA	
				2 教師による自己評価でB	2 保護者による評価でB	
				1 教師による自己評価でC	1 保護者による評価でC	
知・徳・体の調和の取れた生徒の育成	知・徳・体の調和が取れた生徒の育成	授業改善の推進と学力の定着・向上を図る。	チャイム前行動に取組みチャイム着を徹底し、チャイムで授業開始、チャイムで終了の取組を行う。	4 教師による自己評価でS	4 生徒による評価でS	
				3 教師による自己評価でA	3 生徒による評価でA	
				2 教師による自己評価でB	2 生徒による評価でB	
				1 教師による自己評価でC	1 生徒による評価でC	
				放課後学習支援教室や長期休業中の計画的な補充学習を図る。	4 教師による自己評価でS	4 生徒による評価でS
					3 教師による自己評価でA	3 生徒による評価でA
					2 教師による自己評価でB	2 生徒による評価でB
					1 教師による自己評価でC	1 生徒による評価でC
		道徳教育の充実と教育相談の充実を図る。	教職員全員による生徒への日々の声かけや年間3回の教育相談週間の設定及び教科担任・部活顧問による相談活動を実施する。	4 教師による自己評価でS	4 生徒による評価でS	
				3 教師による自己評価でA	3 生徒による評価でA	
				2 教師による自己評価でB	2 生徒による評価でB	
				1 教師による自己評価でC	1 生徒による評価でC	
		マナーや規範意識の確立を図る。	教師と生徒がともに取り組む一人役割分担制清掃実施に取り組む。	4 教師による自己評価でS	4 生徒による評価でS	
				3 教師による自己評価でA	3 生徒による評価でA	
				2 教師による自己評価でB	2 生徒による評価でB	
				1 教師による自己評価でC	1 生徒による評価でC	
				8：20までに正門登校させるとともに、遅刻ゼロ週間への取組を行う。	4 教師による自己評価でS	4 生徒による評価でS
					3 教師による自己評価でA	3 生徒による評価でA
					2 教師による自己評価でB	2 生徒による評価でB
					1 教師による自己評価でC	1 生徒による評価でC
		基本的な生活習慣の定着と健康・体力の保持増進を図る。	家庭やPTAと連携し、基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の定着への取組を行う。	4 教師による自己評価でS	4 生徒・保護者による評価でS	
				3 教師による自己評価でA	3 生徒・保護者による評価でA	
				2 教師による自己評価でB	2 生徒・保護者による評価でB	
				1 教師による自己評価でC	1 生徒・保護者による評価でC	
推家 進庭 ・地 域 く る み に よ る 教 育 の	保護者・地域との行動連携を図り、地域の中の学校づくりの推進。	家庭・地域・幼保小との行動連携の推進を図る。	朝のあいさつ運動を継続し、より多くの生徒を参加させ、保護者・生徒・教職員が協働した取組を行う。	4 教師による自己評価でS	4 生徒・保護者による評価でS	
				3 教師による自己評価でA	3 生徒・保護者による評価でA	
				2 教師による自己評価でB	2 生徒・保護者による評価でB	
				1 教師による自己評価でC	1 生徒・保護者による評価でC	
		継続的に宿題を与えるとともに、月1回程度（1週間程度）の家庭学習強化週間を設定し、家庭と連携した取組を行う。	4 教師による自己評価でS	4 生徒・保護者による評価でS		
			3 教師による自己評価でA	3 生徒・保護者による評価でA		
			2 教師による自己評価でB	2 生徒・保護者による評価でB		
			1 教師による自己評価でC	1 生徒・保護者による評価でC		